

☆公害による健康被害を許すな!  
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



タバキ

# 大阪から公害をなくす会 ニュース

**大阪から公害をなくす会**  
〒540-0026 大阪府中央区内本町2-1-19  
内本町松屋ビル10 370号  
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121  
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp  
URL http://oskougai.com/  
発行責任者 金谷 邦夫  
年間購読料一部2,000円(送料共)



「第44回公害環境デー大阪府民集会」が、1月30日(土)にエル大阪において200名を超える参加者で開催されました。

午前中は、下記の内容で3つの分科会がもたれました。

①「今改めて福島原発事故被害を考える」

話題提供：白倉典武弁護士、金井直子(福島原発避難者訴訟原告団)、森松明希子(原発賠償関西訴訟原告団)、金谷邦夫医師

②「TPPと食の安全」

話題提供：佐保庚生(農民組合)、中間昭彦(大阪市立環境科学研究所)

③「地震・津波・防災」

話題提供：田結庄良昭(神戸大学名誉教授)、中村毅(大阪から公害をなくす会)、山口毅(大阪自治体問題)

昼休みには、映画「日本と原発」の上映、フクシマ原発事故写真集(飛田晋秀『福島のすがた』の一部)、除染土のフレコンバッグ見本、淀川左岸線



(中津コープ周辺) 模型の展示会などが行われました。

午後の全体会では、宮本憲一氏による「『都市格』のある住みよい大阪を」の記念講演の他、基調報告「公害環境問題めぐる情勢と私たちの課題」、3分科会の報告、特別報告として「建設アスベスト訴訟判決」「COP21の評価と課題」「ソラダス21について」の3つの報告、また4人からの討論もあり、会場いっぱいの参加者の熱い思いを交流し、「住みよき大阪市を」考え学習する一日となりました。



**宮本憲一**  
大阪市立大学名誉教授  
講演要旨

記念講演で宮本憲一氏は、昭和の初め関一市長は、就任以来20年間で、港湾・道路・市電・地下鉄・電灯、市場・託児所・病院・大学・図書館・衛生試験所・街路樹・緑化・大阪城など、近代大阪市の骨格をつくった。関一の都市政策の理想は「住み心地よき都市」であり、当時の大阪府知事の中川は「図書館など文化の充実で都市格を上げよう」、都市政策の共同者であった岡実「大阪は、権力の“都”ではなく人権を確立した市民の自由都市であれ」と提唱した。私は、「都市格」こそが大阪が目指すべき目標だと思う。

1960年代高度経済成長は、世界を震撼させた公害を生み出した。これを破ったのは地域住民の人権を守る公害反対の闘いであった。大阪で誕生した黒田革新府政は、先駆的な科学的環境行政と文化の向上を行政の最高目標においた。西淀川の大气汚染公害反対運動は、弁護士中心の闘いを被害者・住民中心の運動に変えた。正義の旗には「科学」があったのだ。大阪の政治は、府民の世論と運動にかかっている。現代の「都市格」は憲法を都市生活に生かすことである。